

公益社団法人 京 都 デ ザ イ ン 協 会

令和7年度 第7回理事会 議事録

1. 開催日時：令和7年12月19日（金）午後6時～

2. 開催場所：西陣産業創造會館1階 事務局

3. 出席者（理事総数：16名）

小澤泰子（△） 川口凱正（○） 木原三郎（○） 黒竹節人（○） 小林和行（△）
才門俊文（○） 鈴木秀信（△） 住谷晃也（○） 田中 聡（○） 奈良磐雄（○）
古川加津夫（△） 松原 出（△） 山岡敏和（○） 山本洋二（○）
（株）尚雅堂 松尾安浩（○） （有）画箋堂 山本修三（△）

監事（監事総数：2名）：本郷大田子（△） 松田昭弘（△）

4. 議 長 代表理事 奈良磐雄

5. 議 題

(1) 第1号議案

令和7年度事業

①デザインを通じて地域基盤の向上と地域産業の振興を推進する事業（公1）

京都デザイン賞2025について（別紙資料参照）才門実行委員長より報告

■授賞式

日時：2025年11月22日（土）14：00～15：00

場所：京都府庁旧本館・旧議場

参加人数：75名（後援4名・審査員3名・協賛企業1名・特別参加者1名

入賞者49名・KDA会員15名・事務局2名）

■作品講評会

日時：2025年11月22日（土）15：15～17：00

場所：京都府庁旧本館・旧議場

参加人数：72名

■交流会

日時：2025年11月22日（土）18：30～20：30）

場所：しょうざんリゾート京都 中華料理「楼蘭」

参加人数：55名（内 招待7名・一般37名・学生9名）

収支報告：収入

10,000×38名=370,000+5,000×9名=425,000円（当日欠席者分含

）

支出 374,000円

・協賛→1件追加 京榮薬品株式会社 10,000円（才門氏ご紹介）

- ・収支報告途中報告（別紙資料参照）
- ・行政へのお礼状→発送済み
- ・収支確定後、後援・協賛各社・KDA 会員へ作品集と共に報告書を発送予定

＊建築部門で大賞を受賞した「2025 年 日本国際博覧会 大屋根リング」の応募者代表 東畑・梓設計事務所から礼状が届いた。

＊理事長から「京都デザイン賞 2025 実行委員会」は、いくつかの新たな試みを取り入れ実施し、事業を終えようとしているが、。評価点、改善点を抽出し、「京都デザイン賞 2026 実行委員会」を早期に立ち上げ取り組みを始めることを望む」との発言があった。

(2) 第 2 号議案

①デザインアドバイス

- ・京都府庁観桜祭 2026 リーフレットなど制作費見積依頼あり

11/17、12/11 に提出済み←田中理事より報告

- ・京都市産業技術研究所の創造フォーラムにて紹介のあった
中島 敦貴氏（合同会社 ROCA 代表、株式会社渦 代表取締役）に KDA 活動を
ZOOM にて説明→奈良理事長・才門副理事長対応

日時：2025 年 1 月 19 日（金）午後 5 時～ ←奈良、才門理事

引き続き対面での面談を約束した。

②デザイナーである会員の創作・研究・発表を行い、そのデザインの向上を図る事業（共 1）

③会員相互の交流を目的とした事業（共 2）

（ア）交流会について 京都デザイン賞 2025 の交流会は多くの参加者を迎え盛大に開催。食事を伴う交流会はとても有意義な時間となった。

（イ）KDA サロン→ 報告なし

（ウ）Designers Mini Café→ 報告なし

（エ）国際交流事業→ 京都デザイン賞 2025 の入選作品にバンコクからの作品があり、このような接点を大切に、交流に発展させることを目指したい。

（オ）他団体との交流事業→ 報告なし

(3) 第 3 号議案

① 運営報告

- （i）企画・教育→黒竹節人理事よりの企画提案。京都デザイン賞の入賞・入選者と協会会員、一般希望者の情報交換・交流の機会をつくり、相互の事業理解・協力者を増やすことに取り組む。

KDA Friendship Society :K.F.S. KDA PLUS KDA COMMUNITY

(ii) 広報・交流→報告なし

(iii) 総務

年賀状デザインは鈴木理事により作成。 デザイン賞の関係者、その他に
協会事業への協力継続を期待する一筆を添えてもらいたい（理事長）
協力会員は事務局まで申し出てください（切手支給）。

(iv) 経理・会計

令和6年度運転資金不足による「特別維持費 一時借入金」について。
令和7年11月現在の残額報告があり、返済は据え置くことが承認された

②一般報告

- ・京都中央信用金庫より「四条支店移転のご案内」

6. その他

- ・任期満了につき役員改選について

運営方法については前回同様、事務局が執り行うことが了承された。

スケジュール（予定）

2月開催の理事会にて選挙方法を理事会承認

2月下旬投票用紙発送

3月前半：投票締め切り（Webによる投票）

3月中旬：開票（理事長・監事立会いのもと）→前回は事務局のみで開票
（3月末日までに新理事候補を決定）

理事人数についての検討

- ・令和8年度事業案について→本年度中に京都府へ提出義務あり
次回理事会にて担当者（理事長）は事業案を提出。

以上をもって議事全部の審議および報告を終了したので、議長は午後 7 時50分に閉会を宣言し、理事会を終了した。上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、理事長、出席理事、監事が記名押印する。

令和 7 年12月20日 議事録作成 奈良 磐雄